

クリニカルパスを事例とした 統制語で検索されない文献の報告

岡田 英孝

東京医科大学八王子医療センター病歴センター

[目的]

「クリニカルパス（以下パス）」を事例とした医学中央雑誌（以下医中誌）におけるシソーラス用語の付与状況の調査

うろ覚えのパスの特集記事を医中誌で検索した際に、特集名「パス」ではノイズが多いので、統制語「クリティカルパス」と掛け合わせた結果、求める文献が得られなかったのが今回の調査のきっかけである。

[方法]

以下の2つの文献集合と統制語「クリティカルパス」のそれぞれの差集合を求め、文献内容を分析する。なお、シソーラス用語が付与された文献を対象とするため、検索対象から Pre 医中誌は除いた。

① 特集名に「クリニカルパス」が付いた文献

統制語「クリティカルパス」の同義語を医中誌のシソーラスブラウザより調べ、それらの用語を用いて特集名で検索した。全体で 2,325 件の文献が得られた。差集合として 476 件得られたが、「バイパス術」「キャリアパス」等特集テーマが違うものを除き 188 件を対象とした。特集としては 42 特集が得られた。

② 日本クリニカルパス学会（以下パス学会）の学会抄録

日本クリニカルパス学会誌はその 1 号が、学会抄録集に当てられる。医中誌では 7,800 件検索されたが、差集合として得られた 568 件から学会抄録に収録された 476 件を対象とした。

[結果]

特集記事では不適切な特集記事名が複数見られた。中には特集記事全てがパスに関係ない文献であることもあった。また「A とパス」といった特集名では、「A and パス」ではなく「A or パス」の関係が多く、一部の文献はパスに関連するがパスに関連しない文献も特集に複数含まれる例もあった。用語の付与が概ね妥当である一方、著者や編集者への適切なタイトルのつけ方が望まれる。パス学会の抄録では、「アウトカム評価」や「バリエーション」等パスに関連した用語が付与される一方で、パス委員会の取り組み等「クリティカルパス」が付与されるべき例も見られた。なお、Web データとなってデータの修正は容易になったが、修正の履歴やその表示方法等は特に文献データベースでは今後重要な課題となろう。今回の調査結果を元に、今後の検索や文献データベースのあり方について考えるきっかけになれば良いと考えている。